

テーマ

# 医療連携のための アセスメント力・伝達力を 高めよう！

## ～主治医から何を聴き取り、利用者支援へどう繋げるか～

ケアマネジメント業務において大きな課題の1つである「医療連携」。スムーズな連携のためには、必要な情報を医療サイドから収集したうえで、アセスメントをし、的確に利用者支援に繋がられるよう関係各所に伝える力量が求められます。

そこで当センターでは、医療情報収集と、その伝達力向上を目的とした演習主体のセミナーを、以下の要領で開催します。

また、今回は現職の在宅医療専門医師より皆さんの疑問にアドバイスしていただくコーナーがあります。貴重な学びの機会として本セミナーをぜひ活用ください。

- 10:00～12:00 【講義とグループワーク】 \*内科関連事例をもとに、「主治医に何を聞きたいか」を話し合い、集約。
- 13:00～15:00 【受講生からの「主治医への質問」について医師からアドバイス】
- 15:00～17:00 【グループワーク】 \*アドバイス後の情報をどう利用者支援のプランに活かすかを演習

講師

**奥田 亜由子** (おくだ あゆこ) 氏 [愛知県介護支援専門員協会理事・日本福祉大学非常勤講師・社会福祉士]

■ アドバイザー

**飛田 拓哉** (ひだ たくや) 氏 [医師・安心生活在宅クリニックあおい 院長]

日時

2012年11月19日 月

10:00～17:00

会場

日本福祉大学 名古屋キャンパス 南館

JR/名古屋市営地下鉄「鶴舞」駅 徒歩2分

受講料

6,000円

定員

60名 ※先着順・定員に達し次第締切

参加資格

ケアマネジメント業務に従事し、医療関係者とのコミュニケーション力向上に意欲・関心をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

